

【事務事業調査】

事務事業名	町スポーツ少年団補助			予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-10-05-01-002-01-02-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担 当 リーダー	社会教育担当 山野井 紀泰	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	H22 事後評価 ◆高根沢町スポーツ少年団が組織の充実と円滑な運営が図れるように、財政的な支援を行いました。 ・高根沢町スポーツ少年団登録団体:10団体	◆町内外とのスポーツ少年団との交流試合に参加することにより、単位団の交流と競技力の強化につながります(ました)。
	H24 事前評価 ◆高根沢町スポーツ少年団が組織の充実と円滑な運営が図れるように、財政的な支援を行います。 ・高根沢町スポーツ少年団登録団体:11団体	
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
登録団体数	11団体		阿久津スポーツ少年団、高根沢キッズBCスポーツ少年団、上高根沢スポーツ少年団、HK学童軟式野球クラブスポーツ少年団、高根沢西スポーツ少年団、阿久津エンジェルズスポーツ少年団、HOKUTOS・B・Cスポーツ少年団、阿久津クラブスポーツ少年団、高根沢中央ミックスボールクラブスポーツ少年団、柔道スポーツ少年団、Iwaki空手道スポーツ少年団 ◆現在の登録団体11団体を継続的に側面支援することを活動指標とします。

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 補助金	199	◆H23年度と同額要求。 ◆団体運営費
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	199	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	199		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	199		

■補助金等名:高根沢町スポーツ少年団補助

■補助事業者等:高根沢町スポーツ少年団 本部長 鈴木 保夫

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	スポーツ少年団の活動を支援し、さらに多くの子どもたちにスポーツに親しむ機会を提供することで、青少年の運動離れを阻止し、運動を楽しむ生活基盤ができます。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	4	小学生からスポーツに親しみ、生涯を通じて運動習慣を定着させ、健康でたくましい人づくりへのきっかけとなっています。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	4	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	3	様々な単位の活動が近年活発になっているが、スポーツ少年団は、本町の少年スポーツの中心的な役割を担っています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	3	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	毎年町大会・地区大会・県大会に積極的に参加し、優秀な成績を残しています。
		■予算の見積が適正である。	4	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	公的機関の育成による指導者やクラブリーダーによって運営されているスポーツ少年団は、少年スポーツの中心的な役割を担っています。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	4	
合計点数		38		
総合評価		継続		